



2011年10月報

Vol. 432 10月1日発行

主 題	2011-2012 年度	クラブ・部・区・アジア地域・国際
ク ラ ブ 主 題	「為さねばならぬ」	会長・横田憲子
阪 和 部 主 題	響き合い、ともに歩む	To walk together, echoing each other 部長・松本三枝子
西 日 本 区 主 題	ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献	理事・浅岡徹夫 (近江八幡)
		“ContributetotheCommunitythroughActiveServiceswithLove”
々 副 題	—理想を目指して変革と行動—	
		“Change Ourselves and Take Actions toward Our Lofty Goal”
アジア地域主題	地域会長 Wichian Boonmapajorn (タイ)	
		“Audere est Facere — To dare is to do” 「とにかくやろう- 為せばなる」
スローガン	“Mission with Faith” 「信念をもって使命をはたそう」	
国 際 主 題	国際会長 Finn A. Pedersen (ノールウェイ)	
		“Audere est Facere — To dare is to do” 「とにかくやろう- 為せばなる」

日本人のころ

新本 英二



12号台風は大型台風であったが、速度が遅く、太平洋をゆっくり迂回していたので、たっぷりエネルギーを蓄えていた。これが十津川・熊野川・田辺の山崩れを多発して、川を塞ぎ止めた。その塞ぎ止めダムが15号台風の大エ

ネルギーで、破壊されると心配されている。災難が災難を呼びさらなる災害を生む。21日8時現在、15号台風は潮岬南西80キロ、進路北東、速度時速35キロ、風速時速20～30キロと伝えられる。名古屋市では、20日大雨で市内河川が氾濫し市民に避難勧告・避難指示が出された。全国で165万人が避難所で宿泊した。災害はどこでも生じる。特に日本列島はアジア大陸の防波堤の形状をなしている。活火山活動、地震、台風と災害は古来より続発し、継続して日本人の性格を形成した。東日本大震災後世界中からがんばれ日本！がんばれ日本人！と声援が続発した。そうして日本人の自制心、辛抱強さ、協力心を賞賛した。これは古来より災難が継続して生じたことを物語るとともに、村落共同体の中で、自然に形成されていった日本人のころであった。司馬遼太郎作「坂の上の雲」で示された日本人の心と同様である。主人公秋山好古、秋山真之、正岡子規の三人が織り成す人間形成と旧伊予藩との関係が面白い。日本人はそれぞれが村落共同体の束縛を持っていた。近代化された現在ではそれぞれの所属する団体・グループの制約が併存している。そうした人脈の中で人間形成を図っているのが

【今月の聖句】 ヨハネによる福音書 17章 21節
「父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください」



—1844年のロンドンで設立されたYMCAは、ヨーロッパ、北米に伝わり、1855年、パリで世界YMCA同盟が結成された。YMCAの国際性の拠りどころとしてこの聖句の箇所が世界YMCA同盟正章の中心に示されています—

- 【10月例会プログラムご案内】
- 日時：10月20日(木) 18:30～20:30
- 会場：サンホーム 6階 強調月間 “BF”
- 司 会：新本英二 君
- 開会点鐘：会長・横田憲子さん
- ワイズソング：同
- 聖句朗読：尾北昇 君
- ゲスト・ビジターご紹介 司会者
- 会長の時間：会長・横田憲子さん
- 食前感謝：佐古至弘 君
- インフォメーション：当該者
- ゲスト・スピーチ 松本裕史 氏
- 「ノルディックウォーキング」のお話
- 誕生日お祝い：会長・横田憲子さん
- にこにこアワー：丸尾欽造・初子さん
- YMCAの歌：同
- 閉会点鐘：副会長・宮本桂子さん

私たちワイズメンである。

9 月 例 会 報 告

報告: 畠平剛志

日時: 9月15日 (木) 18:30~20:40

会場: サンホーム 6階

出席者: メン 伊藤圭介、大谷美佐子、岩坂正雄、加藤寿枝、佐古至弘、新本英二、正野忠之、杉村 徹、畠平剛志、藤井敬子、中野義彦、丸尾欽造、宮本桂子、望月 強、芳澤伸之、横田憲子

メネット 伊藤玲子、大藪暢子、新本力子、丸尾初子、望月治子

ビジター 寺岡博也、恵美奈博光、恵美奈富紀子 (大阪サウス) 今井利子、藤井弥生 (大阪なかのしま)

ゲスト 八木恒朗、宮原 学 (サンホーム)

以上28名

定刻通りに中野メンの司会で始まりました。横田会長による開会点鐘、佐古メンによる聖句朗読、ワイズソング、そしてゲストビジター紹介と続きました。

会長の時間では、9/23阪和部部会、10月のチャリティラン、10/15の「輪」の遠足支援、そして西日本区で東日本大震災支援の帽子を販売、じゃがいも注文などが告げられました。また、サンホーム宮原さんよりチャリティラン支援に対する河内ワイズへのお礼の言葉がありました。

インフォメーションとしては、(宮本副会長より)「ティンカーベール」と「なないろの風」による遠足を実施、地域奉仕で支援。ボランティア募集。(丸尾メンより)プルトップをなかのしま今井さんへ託す。(正野メンより)チャリティーラン抽選券3枚1000円、Tシャツ販売1500円。東YMCAのチロルリーダーをはじめ4名が盛岡YMCAに。プログラム支援リーダー名簿を作成。

9/28リーダー会を実施(夏のプログラムの評価会)奈良クラブのメネット会において国際大会参加の報告を実施。(望月メンより)じゃがいも購入の件についてご協力をお願いします。(メネット会長伊藤より)小物作りを総力を結集して行く(3種類)。来年5月のメネット例会でのニコニコ献金は是非メネットへのお願い、などがございました。(▼写真 恵美奈ご夫妻 撮影・伊藤圭介)



佐古メンによる食前感謝の後、食事歓談となりました。食事歓談に続いて、恵美奈メンによる「ミャンマー事情/アウンサンスーチーについて」に皆聞き入った後、誕生祝い、ニコニコ、YMCAソングと、例会は滞りなく進み、定刻を少し過ぎて閉会点鐘で幕を閉じました。

ミャンマー事情/アウンサンスーチーさんについて

ゲストスピーチ・ 恵美奈博光氏

現在の日本の平均寿命は女性86.39歳、男性79.64歳であり、100歳以上の方は47756名のうち、9割が女性で女性は強いな!という紹介の後、日本では「老後」というが欧米では「Happy Retirement」、北欧では「Good Time」という、日本の我々もそうありたいと続けられました。

本日のメイン・テーマ「ミャンマーの国内事情・アウンサンスーチーについて」ですが、まずはミャンマーの地理歴史を大まかに披露された後、現在の国内事情、現地での活動を紹介されました。

【ミャンマーの地理】

ミャンマーの国土は日本の1.8倍であり、周辺は5つの国に囲まれている。それぞれタイ、ラオス、インド、バングラディッシュ、中国の5カ国。

ミャンマーは多民族国家であり、135民族がミャンマーに暮らしている。

【ミャンマーの歴史】

1886年に、イギリス領であったイギリス領インドに併合されてその1州となる。1937年、インドから独立してイギリス連邦内の自治領となった。1942年、アウンサンがビルマ独立義勇軍を率い、日本軍と共に戦いイギリス軍を駆逐し(ビルマ戦役の始まり)、1943年に日本の後押しでバー・モウを元首とするビルマ国が建国された。

その後、1944年のインパール作戦(牟田口中将指揮)の失敗など日本の敗色が濃厚とみるや、アウンサンが指揮するビルマ国民軍は1945年3月、日本及びその指導下にあるビルマ国政府に対してクーデターを起こし、イギリス側に寝返った。ビルマ国民軍は日本軍に勝利したものの、イギリスは独立を許さず、ビルマは再びイギリス領となった。1948年にイギリス連邦を離脱し、ビルマ連邦として独立するが、直前の1947年7月19日にアウンサンは死去している。(ウーソーによる暗殺、ウーソーは捕らえられ、後に刑死。)初代首相には、アウンサンを継いでウー・ヌが就任した。

独立直後からカレン人などが独立闘争を行い、ビルマ共産党は政権を離脱するなど、政権は当初から不安定な状態にあった。1949年、国共内戦に敗れた中国国民党軍の残余部隊がシャン州に侵入し、ゲリラ闘争を行った。又首相の仏教優遇政策は、キリスト教徒の割合が多い、カチン、チン、カレンなどの民族の強い反発を招いた。ビルマ国民軍は、これら独立を求める民族勢力、国民党軍、共産党勢力との武力闘争の過程で徐々に力を獲得し、

ネ・ウィン將軍は軍事クーデターを起こす。1988年にはネ・ウィン退陣と民主化を求める大衆運動が高揚し（1988年8月8日の8888運動）同將軍が退くまでビルマ連邦社会主義共和国の独裁は続いた。

1988年はビルマの大きな転換期。（恵美奈氏が最初にビルマを訪れたのは1985年。）同年に軍部がクーデターによりソー・マオ將軍が政権を掌握する。民政移管を公約とし、暫定政権としたが、23年後の今まで軍事政権が続いている。この時ビルマをミャンマーに、ラングーンをヤンゴンに改めた。

2011年3月30日、軍事政権のテイン・セイン首相が大統領に就任し新政府が発足。最高決定機関であった国家平和発展評議会（SPDC）は解散し、権限が新政府に移譲された。これにより軍政に終止符が打たれた形だが、新政府は軍関係者が多数を占めており、実質的な軍政支配が続いている。

【アウン・サン・スーチーの半生】

アウンサンスーチーは1945年生まれ。現在66歳。インドに学び、英国米国在住。1988年、病気の母を看護するためビルマに戻る。

アウンサンスーチーは1990年に予定された選挙への参加を目指し、国民民主連盟（NLD）の結党に参加する。軍事政権は1990年総選挙を行い、アウンサンスーチーの率いる国民民主連盟が大勝した。しかし「民主化より国の安全を優先する」と権力の移譲を拒否した。

（8888運動を共に戦った学生はほとんど亡き者にされたとされるが、そのうちの一人は今でも国境地帯で少数民族とともに反政府活動を行っている。）

1991年ノーベル平和賞受賞、95年軟禁解除されたが2000年9月再び自宅軟禁を受ける。2002年5月まで拘束。2003年に地方遊説している途中で三度目の軟禁状態。2009年5月、アメリカ人の男が自宅に侵入したのを泊めた罪で一時刑務所に収監。2011年総選挙後、自宅軟禁を解かれた。

【恵美奈メンのミャンマー雑感】

私はミャンマーの若者と英語で話すのが楽しみです。彼らのなかにもアウンサンスーチーさんについて態度をはっきりさせる人としらない人がいます。いずれにしても「このままでいい」とは思っていないと思います。

ミャンマーについて日本で報道されているのは「軍事政権と悲劇のヒロイン」というものばかりで、アウンサンスーチーの主義主張は伝わってきません。

ところが、アウンサンスーチーはミャンマーの土着の人ではありません。彼女は15歳でインドに渡った後、イギリス、アメリカと渡り、西洋のものの考えが民主化だと思っています。

彼女はオックスフォードのマイケル・ハリスと結婚しましたが、彼はチベットの研究者で、一説によると彼はイギリス情報部のM6に勤務しており、「ある意図」を持ってアウンサンスーチーと結婚して2子をもうけたとも言われています。今で言うハニートラップの逆、「逆ハニートラップ」であったと言われています。



【美しい日本語と愛にあふれる心で語る恵美奈さん】

欧米にはミャンマーを欧米化させて再度の実質植民地化させる意図があったのではないのでしょうか。

ミャンマーは豊かな資源を持っており、大国は目を付けています。ミャンマーはかつて日本とのつながりは深かったのです。日本の巨額のODAによるインフラ整備がありました。しかし今、それは忘れ去られています。今はミャンマー人に出会って「私を何人だと思うか？」と尋ねても「中国人か」「韓国人か」と次々と国をあげても日本の名前は出てこないのです。日本はすっかり忘れ去られています。

現在、ミャンマーでは中国による2000キロに及ぶパイプラインの施設が行われています。その工事を韓国中国インドによる合弁企業が担っています。

また中国海軍はミャンマーの港湾を借りて艦艇を展開しています。中国にしてみれば石油を運ぶのにわざわざマラッカ海峡を超えるより、ミャンマーを属国化して直接運んだ方がより早く、メリットがあるのです。国際社会でアメリカが弱くなる中、中国が強くなっています。

ミャンマーとしても一足飛びに国際化するよりも、中国、インドなどに認められてアジア経済のなかで生きていく事を選択する方がステップとして望ましいと思っています。これではないのでしょうか。

これに対して日本はアジア政策をとれていません。対外的な政策に失敗しているといえましょう。

さて、ここに最近の新聞報道があります。それぞれ紹介します。

6/30 アウンサンスーチーに政治活動を禁止。

8/9 「8888運動を忘れないで」とアウンサンスーチーは市民に訴える。

8/20 大統領（將軍）、アウンサンスーチーと初会談。アウンサンスーチーは政治への関与を主張、大統領は行き過ぎた民主化運動を認めないと主張。ただし場所は新首都ネピド。

9/7 アウンサンスーチーが雑誌の表紙に。

これに見るように、ミャンマーの中の動きはかなり急転直下、変わってきております。アウンサンスーチーは軍事政権と折り合うように変わってきたのかもしれませんが。

これらの動きを受けて、アウンサンスーチーの今までの支持者はどう動くのか？また軍事政権はどこまでアウンサンスーチーの活動を許容するのか？目が離せません。（次頁に続く）

なお、色々と話しをしてみると、ミャンマーの市民は文化を大切にしつつ、ゆるやかな民主化を望んでいるように思います。日本を振り返ってみると、急激な欧米化でアメリカのものが入りすぎ、日本の良さが失われてしまったのではないかと、思います。

【恵美奈メンのミャンマーでの活動】

マンダレイ YMCA / ヒト・センター日本語教師をしていますが、この中にもマンダレイ YMCA の国際会員になっていただいで協力していただいている方がおられます。お礼を申し上げます。新しい試みとして、日本語の授業を

ローカルティーチャーに任せるようになっていきます。現地の人も初級はミャンマー語と日本語両方で行うほうがメリットもあるし、現地の人のモチベーションも非常に上がっています。

また、空き教室での授業や、韓国語の授業も実施しています。その他、町をきれいによというクリーン作戦を実施しています。また12月にはミャンマーに行く予定です。引き続きのご協力ご支援をお願いします。

おわり

第23回 阪和部会 と 阪和部合同メネット会



部会報告：畠平剛志

2011年9月23日(祝・金)、台風一過の素晴らしい秋空のもと、第23回阪和部会が開催されました。

定刻の11時には、第一部がバナーセレモニーを皮切りに始まり、続いての第2部で参加者は綺麗なお弁当と共に楽しいおしゃべりに興じました。続いての第3部では素晴らしいピアノとバイオリン、そして歌のミニ・コンサートが行われ、クラブ員も「翼をください」を全員で合唱したり、リーダーが飛び入りで鉄琴を合奏したりと楽しいひとときを過ごしました。

今回の阪和部会では様々な東日本大震災への支援も行われました。会費のうち500円が支援金として供され、また、復興祈願リストバンドや帽子的販売や、チャリ

ティランTシャツの販売なども実施されました。河内クラブからも多くのメンバーが参加した今回の阪和部会は、参加者140名超と大規模な部会となり、盛会のうちに幕を閉じました。

メネット会報告：望月治子

阪和部会に先立って10時から合同メネット会が開かれました。メネット事業主査吉田芳子様から開会の挨拶があり、部長松本三枝子様に引き続き、遠く熊本から来られた、メネット事業主任大沢玲子様と書記の菅美代子様とご挨拶がありました。10時30分より、各クラブのメネット会長による「今年の抱負と計画について」発表がありました。河内クラブからはメネット会長伊藤玲子様が、今期は東日本大震災の援助の一環として小物作りをメネットの皆さんで作成することを、発表されました。また、毎月開店するサンホーム居酒屋「なごみ」でのお手伝いをしています。お手伝いの様子を伊藤さんが楽しく話され、会場を一段と和やかになごみました。他クラブのメネット会についても意欲的に事業に取り組んでおられます。ペンギンの折り紙作は各クラブとも力を入れておられます。国内プロジェクトへの支援に際しメネット会場献金が集められました。

集められた献金は¥34,100でした。ホストクラブのサウスの皆さまにお世話になり有り難うございました。出席者：横田憲子、伊藤玲子、大藪暢子、初田真佐子、望月治子 以上5名。



写真左・河内軍団 上・浅岡理事も出席のメネット会

第37期 9月クラブ役員会 議事録

書記：芳澤伸之

2011年9月22日(木) 19:00~21:00 東YMCA

出席者：横田・大谷・宮本・望月・芳澤・田中・藤井・新本・伊藤・中野・佐古・正野・畠平・杉村

10月例会 10月20日(木) サンホーム
C班担当(正野・丸尾・藤井・新本・尾北・青野)
ゲスト 松本裕史 様
「ノルディックウォーキング」についてのお話し

10月例会役員分担

司会・新本君、聖句朗読・尾北君、食事手配・正野君、食前感謝・佐古君
ニコニコ・丸尾君&丸尾メネット
受付・田中君&藤井君&芳澤君

11月号ブリテン原稿

10月例会報告：正野 忠之君
10月例会ニコニコテープ起こし：
畠平 剛志君

役員会報告：芳澤 伸之君
Yニュース：鈴木 えみさん
サンホームニュース：尾北 昇君
巻頭言：芳澤 伸之君
原稿締切は 10月28日(厳守)です

【審議事項・報告・連絡事項】

《審議事項》

1. 10月例会準備
上記の通り進める
2. 11月例会(A班)の予定
ゲストスピーカー：金参禮(キムサムレ)さん
仮題 「オモニは64才の高校生」大阪府立布施高等学校卒業
報告会：2011年度東YMCAサンシャインキャンプ報告会
3. 小阪教会で「被爆ピアノによる平和の音色チャリティコンサート」の後援依頼(佐古至弘君)
大阪河内クラブより後援を承諾する。後援援助金をCS事業資金より1万円拠出することを決定
10月15日参加呼びかけ
4. 例会会場の会計受付場所に関して
従来の受付場所に戻すこと決定
5. ジャガイモ・栗かぼちゃの注文数に関して
9月22日現在じゃがいも(650箱)栗かぼちゃ(80箱)確約取れている。最終注文数、じゃがいも700箱、栗かぼちゃ80箱とすることに決定。荷降日は二案あるがウエルネスとで調整を行う
箱に貼るラベルの考案は望月じゃがいもファンD委員長に委託
6. ロビー展に関して今期の取り組み
今期は東日本大震災に捧げる趣旨のロビー展とする。期間は11月19日(土)~12月4日、締切11月17日(木)厳守とする。写真のみの募集とし、12月のクリスマス例会時に例年通り表彰式

を行うこと決定。チラシにてアピールを大谷ロビー展委員長より阪和部会から行うこと決定。応募票は広報含めエコの観点から河内ホームページを駆使する。(畠平剛志君)

7. チャリティーラン(10月10日)のおにぎり購入の件
昨年は140個購入(17,820円)今年は桃の里幼稚園の不参加も考慮し100個購入する(担当・宮本桂子君)
当日、河内クラブより9名参加・東YMCAより5チームのエントリー
8. 次期阪和部長・書記・会計の件と部会に関して
正野忠之君次期部長より心境・抱負・体制についてお話しいただく。意をくんでクラブ員全員でバックアップしていく。
9. 来年(2012年)5月のメネット例会でのニコニコ献金をメネット献金に捧げる件
審議未了
10. リーフレットを配って会員増強に力を入れる件
辻野広報事業主任・田中広報事業主査からの方針通り、河内クラブも現在のリーフレットを各自配布する。現在のリーフレットが古いため新リーフレットのたたき台を作成する(伊藤圭介広報事業委員長)
11. チェジュクラブからの東日本大震災義援金へのお礼に関して
東YMCAサンシャインキャンプの報告とお礼をメール等にて行う(岩坂正雄交流委員長、伊藤)
12. 丸尾欽造君の実弟様ご逝去に伴う御弔金に関して
会則にのって御弔金をお渡しする

《予定事項》

1. 9月23日(土)阪和部会
参加：伊藤、伊藤メネ、宮本、加藤、望月、望月メネ、正野、大谷、初田メネ、畠平、大藪メネ、横田
2. 9月24日(土)「なごみ」・東日本大震災チャリティショップ
3. 9月28日(水)リーダー評価会 18:00 東YMCA
4. 10月10日(祝)チャリティーラン 集合場所は昨年と同じ大阪城公園「青谷門」内側の広場に8時集合。
参加者：正野、新本、丸尾、丸尾メネ、藤井、横田、伊藤メネ、宮本、杉村
5. 10月15日(土)「ティンカーベル」の遠足支援について
9時ティンカーベル集合 9:30出発~17:00解散予定。支援参加締切り日10月5日。
参加：丸尾、丸尾メネ、藤井、芳澤(予定)
6. 10月15日(土) 阪和部評議会
7. 10月22日(土)「なごみ」・東日本大震災チャリティショップ

《報告事項》

1. 納涼例会会計報告
収入の部(123,000円)支出の部(59,921円)
差額(63,079円)を本会計に入れる
2. あそびの講座 The シニアカレッジ参加依頼

以上

連載の「温故知新」及び「YMCAニュース」は紙面の都合上、今月はお休みさせていただきます。引き続き、来月から掲載させていただきますのでご了承ください。

LOOK WORLD through IBC

The Wave from RUSSIA

広報委員長・伊藤圭介
(英文 HP Editor)

河内クラブのみなさんへ

Mrs. Olga Vozchikova からのメール (Sep. 1st) です。

Dear Itoh-san

Thank you for your letter with from "Japanese summer" and wonderful pictures as always.

It was nice to see familiar faces of Y's men at different meetings.

My best greetings and congratulations to your new CP Yokota-san and new Y's Menettes club President Reiko Itoh-san. Mr. and Mrs. Shono look very beautiful on their Wedding Day.

What was the most impressive thing from your last meeting is amount of families with children!

It's really great!

Y's men from Yekaterinburg are spending active and exciting time in summer. We took part in Area Convention

Best regards

Y'sly yours

ICM, APE Olga Vozchikova

さて、これは、昨夏、来日されたロシアの方々が離日のため新幹線に乗る前のお別れ Party での風景です。



ロシアの皆さんは代わる代わるスピーチをされ、大谷美佐子会長(当時)が答辞のスピーチをされ、随分大谷さんは場馴れをされたようです。国際感覚を充分身に付けたお別れでは、このようにお別れの会を持つのが常識です。仮に道ばたで時間が限られていても、お別れスピーチの交換をしないと味気ないですね。特に Look World の感覚としてこれは必要です。

私はこの場面はロシアをお迎えしたプログラムは完璧だったと評価していますが、特にこのお別れパーティは国際を視野に入れても A クラスです。その意味でこの「お別れの場」を設定された「プロジェクト35」に敬意を表します。ロシアを迎えて河内クラブの骨太総合力の素晴らしさをあらためて確信しました。これらの写真とその後ロシアの皆さんとのメール交流が途切れず続いている

るのはその証拠です。新執行部への挨拶と正野夫妻にお祝いの言葉が下記にあり、それと最高に気に入っているのは子どもを連れた家族の写真のようです。Olga のメールから見て国際大会でも幼い子ども連れは歓迎されるようです。

▼ “道 свидания” See you again



居酒屋「なごみ」に是非メンのご協力を！！

「なごみ」奉仕：なでしこ河内サンホームでは、毎月最終土曜日の夕刻、1階ロビーにて、入居者やデイサービス利用の方々への食事プログラムとして、交流と憩いの場、居酒屋「なごみ」を開いています。そこでは、調理や給仕等の部分でボランティアが必要ですが、河内クラブでは主にメネットや女性会員が、心をこめて今日まで奉仕を続けてきています。

「お好み焼き」はクラブメネットの看板メニューとして好評をえています、メン会員で(ここでは男性諸兄のことですよ)どれほどの方がこの現場をご存じなのでしょう。板場奉仕はご無理でも、一度は「名物・お好み焼き」を食べに来てくださいませでしょうか。そして「ウェーター」として、世代交流?(同世代かも...)してみてもいかがでしょうか。ちなみに、ある月の担当シェフのみなさんをご紹介します。

♥伊藤玲子：豚肉、紅ショウガ、長いも ♥望月治子：キャベツ、青ネギ ♥初田真佐子：ちくわ、こんにやく ♥丸尾初子：たまご ♥藤井敬子：キャベツ ♥大谷美佐子：粉、天かす、海老、青海苔、カツオ、ソース、マヨネーズ、その他牛乳など、です。是非ともご来店くださいますようをお待ちいたしております。

9月例会の余韻

ニコニコ語録集

ダイジェスト版



ドライバー : 望月強・望月治子

▼恵美奈博光: 今日はこの機会を与えていただきありがとうございました。▼恵美奈富貴子メネット: 久しぶりに河内クラブに寄せていただきました。ありがとうございました。今後ともよろしく願います。▼八木さん 来月も続けて参加させていただきたいと思います。▼畠平剛志: 日本では伝わってこない、現地の人がどう思っているかなどの生の声が聞けて勉強になりました。(恵美奈メン「お父さんお母さんは、畠平さんが生まれる前から!よく知っています。」)▼岩坂正雄: 恵美奈さんとは恵美奈さんがメネットさんと出会う前からお知り合いです。恵美奈さんは長州から大阪にいられて、素晴らしい商人そしてワイズメンとなり、今やアジアのワイズメンとなりました。ありがとうございました。▼新本英二: お元気な姿をみて安心しました。難しい国に生活していると色々あると思いますが、どうぞ気をつけてお過ごし下さい。▼正野忠之: 恵美奈さんのご活躍の陰には恵美奈富貴子さんがおられます。結婚した私としては恵美奈夫妻を目指したいと思います。結婚式をしていただいてポイントがあがったのですが、カレンダーに沢山の予定が入ると段々ポイントが下がってききましたので、今度のライブラリーコンサートで点数を上げたいと思います。▼藤井弥生(なかのしま): ミャンマーのお話をお聞きして、私も2回ミャンマーに行った事を思い出しました。とても懐かしく聞かせていただきました。▼今井利子(なかのしま): 恵美奈さんとも長いお付き合いですが、今後もお体に気をつけて下さい。今日はプルトップありがとうございました。▼寺岡博也(サウス): 阪和部会への多数のご参加ありがとうございました。サウスを代表して御礼申し上げます。恵美奈さん、ありがとうございました。中国がアメリカに代わって大国として脅威になってきているというところに興味深かったです。▼会長・横田憲子: 今日はマンダレイYMCAのインターナショナルメンバーのカードを頂いております。皆様よろしくお願ひ致します。▼芳澤伸之: 私が河内クラブ入会后2年の時に恵美奈さんが阪和部長をされて、私が地域奉仕の主査をさせていただいていました。その時にエイズの講演会でお話いただいて、ありがとうございました。八木さん当確?ですね。▼藤井敬子: ミャンマーの方は日本語を学んで、日本語を利用して活躍されているのでしょうか?の問いかけに、▼恵美奈さん: 「向こうでは日本語熱が高いです。それは日本に行って日本語をもっと勉強したいということと、日本に行って、アルバイトをして、お金を持って帰りたいのです。向こうの人が来るには120万ほど必要で、かなりの大金ですが、それでも日本に行きたいという人

YMCAサンホームニュース

「敬老祝賀会」報告(9月18日)

特養の敬老祝賀会を開催し、たくさんのご家族、ボランティアの参加がありました。今回は特養のマジッククラブ“サン”の妙技に、入居者・ご家族と一緒に楽しい一時を過ごしました。今年は100歳になられる方が3人(3月、9月、10月)いらっしゃいます。サンホームの入居者の平均年齢は85歳で、内90歳以上の方は19名です。今年も皆様の長寿を祝う会を持つことができ感謝です。

***マジッククラブ“サン”は、サンホームの地域高齢者に対する介護予防教室に参加された方々が、教室終了後も自主活動として、今年から毎月1回活動を開始されたグループです。**(写真は祝賀会でのマジック風景)



は多いのです。向こうでは日本企業も日本人観光客もいないので、日本語需要はありません。ただし、今は東日本大震災で『そんな危ないところに行くな』と、特に親御さんがかなり躊躇しています。今、日本全体が危機なのではないでしょうか。▼望月 強: 私も10-12年前にミャンマーに行った事があり、アウンサンスーチーさんの家の前まで行きました。ある程度自由がきいた時期でしょうか。この前参加したアジア大会で、ミャンマーから来られた人が「今表向き活動できないが、数年のうちには出来るようになる」と明るい声で言っておられたのが印象的でした。変化があるのだなと肌で感じました。

(お詫び: 紙面の都合上、一部割愛いたしました)



【 ゲストの八木さんに入会へのアプローチ盛んです】p

今月の強調月間メッセージ
 10月 B F
 使用済み切手は世界のワイズメンの理解と交流へ
 導く扉です。「当たり前前を当たり前前実行す
 る」ことが目標達成の一番の近道です。
 三牧 勉ファンド事業主任

イベントご案内
 大阪YMCA第17回チャリティーラン2011
 とき：2011年10月10日(祝・月) 雨天決行
 9:00~13:00
 河内クラブは8時にお集まりください
 ところ：大阪城北側、青屋門より城内に入ったと
 ころ、内堀沿い。
 役わり：警備と撤収
 その他：昼食はクラブで用意いたします。
 サンホーム、東YMCAが優勝めざして走り
 ます。みんなで応援いたしましょう。
 NPO「輪」東映映画村へ遠足の外出支援
 とき：2011年10月15日(土)雨天決行
 集合場所：新ティンカーベル前
 集合時間：午前9時(9時30分出発)
 交通手段：バス 2台
 その他：入場料¥1800 お弁当実費¥1000程度
 ボランティアの役割はスタッフのお手伝いです。
 帰阪は、午後5時頃の予定。要参加申込。

Happy Birthday
 10月16日 尾北昇 (天秤座)
 10月22日 中野涌子 (天秤座)



第37期 2011/2012年 クラブ役員
 会長・横田恵子 Yサ・ASF・田中惟介
 副会長・宮本桂子 地域奉仕・佐古至弘
 直前会長・大谷美佐子 EMC ・望月 強
 書記・望月 強 ファンド・新本英二
 芳澤伸之 交 流・岩坂正雄
 会 計・田中惟介 広 報・伊藤圭介
 藤井敬子 メネット・伊藤玲子
 連絡主事・杉村 徹 会計監査・新本英二

会 員 数	21名
(特別メネット会員数)	1名
9月例会 会員出席者	16名
メイクアップ	2名
9月の出席率	85.7%
ゲスト・ビジター出席数	7名
メネット・コメット出席数	5名
例会出席者総数	28名
役員会出席者数	14名
9月延べ出席者	42名
ニコニコファンド9月	20,930円
同 今 期 累 計	45,750円

2011 10 Oct. >> 11 Nov. スケジュール

10月 6日(木) ・第二例会 プリテン発送
 16:00~ サンホーム 6階
 ・メネット会 お仕事の会
 13:00~15:30
 サンホーム 6階

10月10日(祝・月)・大阪YMCAチャリティーラン
 会場 大阪城公園
 詳細は別掲参照

10月15日(土) ・NPO「輪」遠足 外出支援
 行先 東映映画村
 詳細は別掲参照
 ・ジャガイモ 9時到着予定
 ・阪和部評議会 於・南YMCA

10月20日(木) ・第一例会 18:30~20:30
 サンホーム 6階

10月21日(金) ・東日本大震災被災者支援
 大阪YMCAチャリティーゴルフ
 神戸ゴルフ場(六甲山上)
 申込先:大塚由美 Fax 06-6787-3233 参加費¥15,000

10月22日(土) ・「なごみ」奉仕 16:30~
 ・東北震災支援チャリティショップ
 15:00~
 いずれもサンホームロビー

10月27日(木) ・クラブ役員会 19:00~21:00

11月 4日(金) ・第二例会 プリテン発送
 16:00~ サンホーム 6階

11月17日(木) ・第一例会 18:30~20:30

11月24日(木) ・クラブ役員会 19:00~21:00

11月26日(土) ・「なごみ」奉仕 16:30~
 ・東北震災支援チャリティショップ
 いずれもサンホーム ロビー

発行者：横田恵子 編集者：丸尾欽造
 HP : <http://kawachi-ys.org/>
 東大阪市御厨南3-1-18 大阪東YMCA内
 大阪河内ワイズメンズクラブ 06-6787-3733